

敬老の日

長寿祈願を込めて厳選したネタを入れた

9月14日(日)・15日(月・祝)

祝  
敬老の日

いつも  
ありがとう



1本 1,500円 (税込)



西田鮮魚店

872-5246

御用聞き便専用番号 090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

※御用聞き便は火曜日・木曜日・日曜日のみの配達

「拝啓 おじいちゃんへ。お元気ですか? また暑い日が続きますが、身体には気をうけていつも元気なおじいちゃんでおつてーよ。また遊びに行く時には、西田鮮魚店の寿司と刺身を買って持っていくね。」

皆さん、いつも元気いっぱいの西浦です。

今日は敬老の日で、僕もおじいちゃんへの感謝の気持ちを込めて広告の文章を書かせていただきます。

皆さん、僕はずつとバス釣りをしてますが、先日、西田鮮魚店の先輩2人と僕で、イカ釣りに大田市の方に行きました。僕も初めてのイカ釣りだったので、釣れるか心配でした。先輩達は早くに釣られて、僕はまだ来ない:「汗」。辛抱して釣りをしてたらイカが釣れたんです! めっちゃ嬉しくて、現時点でハマリ中です(笑)。

僕のおじいちゃん家は福山市内海町にあるんですが、海が凄く近くなので、イカを釣つておじいちゃんにも食べさせてあげたいもんです。

さてさて! ここからが本題です。長々と雑談すいません(汗)。今回の広告は「長寿巻き」です。この長寿巻きには色々な素材を入れてあります。

海老: 腰が丸く曲がるまで長生きをする

山芋: 長く食べると耳や目がさとなり身体も軽やかになる。

鰯: 精力増強! スタミナ抜群! 美味しさ満点!

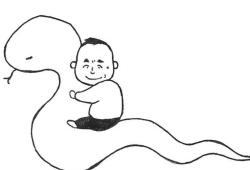
鯛: 日本ではとてもめでたい時や祭りの時に用いられます。

鮪: タンパク質や鉄分やビタミン類がとても豊富で健康に良い。

長寿祈願を込めて厳選したネタを昆布で巻き上げました。おじいちゃんには長生きしてもらいたいです。おじいちゃん家に行った時には、沢山のイカを釣つてご馳走したいですね。皆さんもおじいちゃんやおばあちゃんに、長寿祈願で西田の長寿巻きをプレゼントしてみてください!

# 『昔 たくろう 今 まさと』

鮮コーコーポレーション株 代表取締役会長 西田 昌史



## I ありふれた人生

♪近ごろめつきり酒も弱くなり 色気もとうにご無沙汰で  
昔のことを思い出しても ゆうべのことは忘れてる  
染みの店にも足が遠のいて かわいいあの子のお誘いや  
誰かに遊びに誘われたなら 断り切れないおれがいる  
ああ浮世の義理もしがらみも すべて捨てたら氣楽だらうが  
そうはいかぬが人生だから ぐつとこらえて苦笑い  
それでも自分は自分さ 誇れるものはないけれど  
ありふれたありふれた人生それでいい

親しい友がきょうもまたひとり 遠くへ行つてしまつたよ  
真つ赤に燃えたあの夏の日の 若さはすでにないけれど  
ああ泣かせた過去や裏切りは 胸に刺さつた青い棘

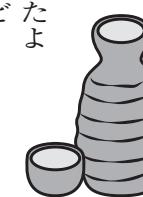
戻れないのが人生だから 悔やむことから逃れない  
それでも自分は自分さ 自分らしく生きりやいい  
ありふれたありふれた人生それでいい

## II すぎもとまさと

2017年（平成29年）の紅白歌合戦で『吾亦紅』を知った。  
亡くなつた母親の墓参りに何年かぶりに来て、その親不孝を侘びる  
中年男の心情を歌う歌詞が沁みた。そして、すぎもとまさとの、その  
しづがれたブルースっぽい歌声が耳に残つた。CDを買った。  
すぎもとまさとは1949年生まれの76才。3年先輩だ。その分、  
私の先を行く。そんな彼が歌う『ありふれた人生』の出だしに響いた。  
「近ごろめつきり酒も弱くなり」。そういえば、いつの間にか酒を  
飲みに出ることもなくなつた。たまに、外で食事をしても、まず二次  
会には行かない。10時を過ぎたら家が恋しくなる。もつとも、同級生  
たちの中には、まだまだカラオケで盛り上がりつづけている元気者もいるよ  
うに聞くが……。  
「色気もとうにご無沙汰で」。昔は……。  
「誇れるものはないけれど ありふれた人生それでいい」

## III 青春の詩

♪喫茶店に彼女と二人で入つてコーヒーを注文すること  
映画館に彼女と一人で入つて彼女の手を握ること  
繁華街で前を行くいかした女の子をひつかけること  
素敵な女に口もきけないでラブレターを書いたりすること  
ゴーゴークラブで汗だくになつて踊りつかれること  
グルーピーサウンズに熱中して大声上げ叫ぶこと  
フォーカソングに痺れてしまつて反戦歌を歌うこと  
セックスを知り初めて大人になつたと大喜びすること  
親に隠れて酒たばこ睡眠薬はては接着剤シンナー遊び  
アルバイトばっかりで学校にも行かず適当にやること  
飛行機乗つ取り革命叫び血と汗にまみれること  
勉強一筋他には目もくれず我が道を行くこと  
スポーツこそ男の根性づくりだやれサッカーや野球一年中真っ黒  
かっこいいスースかつこいい車プレイボーイと呼ばれること  
パチンコ麻雀競輪競馬賭け事専門のギャンブル  
一日中を規則どおりに生きて他になんにもしないこと  
ジユリー、ショーケン、欣ちゃん  
孤独になつて一人で悩み一人で考えること  
自由きままに思つたとおりなんでもやつてみること  
さて青春とはいつたいなんだろう  
その答えは人それぞれで違うだろう  
ただ一つこれだけは言えるだろう  
僕たちは大人より時間が多い  
大人よりたくさん時間を持つてゐる  
大人があと30年生きるなら 僕たちはあと50年生きるだろ  
この貴重なひとときを僕たちは何かをしないではいられない  
この貴重なひとときを僕たちは青春と呼んでもいいだろ  
青春は二度とは帰つてこない  
みなさん青春を いまこのひとときも僕の青春



## IV よしだたくろう

拓郎は今、79才。2022年、76才で引退した。

『青春の詩』が出たのは、1971年（昭和46年）。私は19才。横浜から帰省した友達が持ち帰つた拓郎の顔がイラストのように大きく描かれたLPに心をわしづかみされた。今、こうして73才の私が歌詞をなぞつてみると、あのころの自分が、あのころの仲間たちの姿が彷彿とする。

高校を卒業して友達の多くは大阪、東京に行つた。取り残された私はただただ寂しかつた。そんな時に出会つた『よしだたくろう』は、都会に出て行つた友達とのわずかな接点だつたのかもしれない。

この『青春の詩』の歌詞には行ごとに「トああそれが青春」と続く。まさに、1970年代の青春の形がここにあつたような気がする。

私の20代は『よしだたくろう』とともにあつた。

『人間なんて』『元気です』『伽草子』『今はまだ人生を語らず』

『明日に向かつて走れ』。このころのアルバムはみんな買つた。

## V たいした男じやなかつたけれど

「あと何年生きるんじやろうか？」誰に問うわけでもなく考える。父は57才で、母は93才で亡くなつた。もしかしたら100才まで生きるのかもしれない。寿命なんて考えてもわかるもんじやない。だから考えない。たぶん、みんなそうだろう。ただ、一応の目安というか、ここまででは元気でいたいという目標めいたものはある。85才だ。

私は34才で結婚した。ちょっと遅めだ。50年目の金婚式は盛大に祝

いたい。そう思つて。だから85才。

結婚式は広島の並木パラストで挙げ、翌々日庄原グランドホテルで

も挙げた。もちろん花嫁は、悦子一人だ。たくさんの人々に祝つても

らつた。あれから39年たつた。

ありふれた人生だった。たいした男でもなかつたけれど「よう、こ

こまで来た」とも思う。誰しもそうだろうが、平穀無事な人生なんて

ありはしないだろう。

『ありふれた人生』の二番の歌詞が突き刺さる。

たくさん的人に祝つてもらつた結婚式の、その結果を金婚式で確かめたい。そして、たくさんの人にお札を言いたい。そのために、85才まで元気でいたい。悦子と一緒に。

50年前は『よしだたくろう』のLPが傍らにあつた。今からの12年、『すぎもとまさと』のCDがあるだろう。いやユーチューブかな。こんなことを書いたからといって、けつして弱気になつてゐるとか、そういうのではない。ただ、今の自分の思いがこの歌にあるから、それを知つてほしかつただけだ。

騙されたと思って聞いてほしい。

『すぎもとまさとユーチューブ』とスマホに言つてもらえばいい。そうでない人は矢吹さんとカラオケ

に行つて歌つてもらえればいい。矢吹さん十八番のすぎもとまさとの『冬隣』という歌が沁みる。夫に先立たれた妻の心情を歌つてゐる。

## VI 別れの日に

♪振り向けばはるかな道を おまえと歩いてきた  
ときには泣かせたこともあつた 許してほしい  
いつかくる別れの日には おまえがしつかりして  
みんなでこの俺看にして 酒を飲んでほしい  
たいした男じやなかつたけれど 静かにおまえを愛した  
俺にしかない歴史といえば おまえと生きたことだけ

生きるのは時にはつらくなんにも見えなくなる  
それでも生きると 子どもたちに伝えてほしい  
いつかくる別れの日には おまえは時を止めて  
みんなが帰つた家の中では ひとり泣いてほしい

たいした男じやなかつたけれど なんとかお前と暮らした

俺にしかない歴史といえば おまえに逢えたことだけ  
たいした男じやなかつたけれど 静かにおまえを愛した  
俺にしかない歴史といえば おまえと生きたことだけ

金婚式まで11年。100才まで27年。先は長い。)